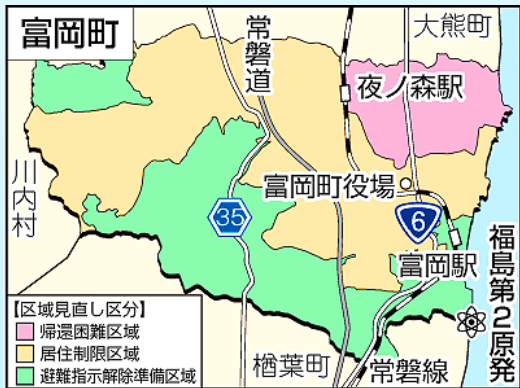


from 東北

全国の諸教会の皆様、日頃から祈りと献金によるお支えをありがとうございます。皆様のお祈りに支えられて三年の活動を続けていくことができました。私たちは、今も放射能問題などで被災し続けている方々や、様々な課題の中で必死に生きている方々のために、主イエスに従う教会として、今年度も継続して活動をおこなっていきたくて考えています。どうか2014年度もご支援くださいますようお願いいたします。今号は郡山コスモス通り教会の活動や、祈りのリクエストをお届けします。

### 郡山コスモス通り教会の支援活動



3月11日仮設集会所での黙祷の時  
避難区分が同じ富岡町でも3つに分かれています。(福島民友みんゆうNet掲載記事より)

郡山市緑ヶ丘仮設住宅は、市の東端に位置し、市内の他2箇所の仮設住宅に比べて、交通の不便な場所にあります。原発事故で避難された方々が入居、今も約100世帯の方々が生活され、その多くが高齢者です。郡山コスモス通りキリスト教会では、全国の教会の協力を得て、2011年8月に緑ヶ丘仮設住宅への支援を開始し、以来月1回の訪問を続けてきました。大切にしているのは、仮設住宅内の集会室でみなさんと一緒に過ごす時間です。仮設住宅にいらっしゃるみなさんからは、毎月の訪問で顔を見知った「いつもの」のメンバーと、「いつもの」時間を過ごすのを、「楽しみにしてっから」と言っています。

2014年3月11日、東日本大震災・原発事故からちょうど三年の日に、訪問支援をして参りました。集会室には40名程の方が集い、教会員によるマッサージコーナー、好きなお菓子を100円分選べる駄菓子コーナー、音楽に合わせて皆で体操する時間、教会から持参したお茶とお菓子でティ

### 「祈りのリクエスト」

- ①一日も早く原発事故が収束して、福島県内すべての場所の線量が下がるように。
- ②燃料棒の取り出し、汚染水、瓦礫の処理に知恵が与えられ、事故のないように進められるように。
- ③原発事故現場で働いておられる作業員の方々のお働きを覚えて。
- ④健康被害が拡大しないように。

ーブレイク、CDに合わせて歌を歌う、そんな「いつもの」時間を、一緒に過ごしました。また、原発事故により避難を余儀なくされ、いつ故郷に帰れるのか目途がつかない緑ヶ丘の方々の人生にも必ず花を咲かせる時がきますよという祈りを添えて、一軒一軒、チューリップのお花をお届けしました。緑ヶ丘仮設住宅には福島第一原発から半径5～10キロ圏内の富岡町から避難している方々が住んでおられます。現時点で、2017年度までは富岡町に帰ることができないことが分かっています。

地震や津波で直接被災しただけでなく、目に見えない原子力災害で、住み慣れた町そのものに住めなくなってしまった苦しみ…。その苦しみを、当事者でない私たちが訪問支援を続けているからといって、完全に理解することはできません。しかし、人間の理解できる限界を超えて働かれる主が共におられることを信じ、今も苦しみの中にある方々と一緒に過ごさせていただきたいのです。これまで助言くださった金子千嘉世牧師を私たちの教会の牧師としてお迎えし、2014年度も月1回の訪問を続けます。どうぞお祈りください。(郡山コスモス通りキリスト教会 齋藤はるか)

### 帰村宣言をした川内村

私たちは、川内村から避難してきている方々との出会いも与えられています。川内村住民は、東日本大震災、その後の原発事故により全村避難をしました。多くの村民は郡山市内県営施設に避難し、その後、6月から8月にかけて、郡山市内の仮設住宅で生活を始めました。2012年1月末、川内村は帰村宣言をして、4月に川内村役場機能・小中学校が村に戻りました。完全帰村者(約535人)・週4日帰村者(約920人：村外からの仕事のため)・村外借上げ住宅者(約1600人)・村外仮設住宅者(約680人)。川内村は帰還困難区域の解除を一番早く行われたため、2012年8月に精神的賠償(月額10万円/人)が終了しました。2013年3月までの生活保障として20万円が支給され、仮設住宅への入居は認められていますが、

2013年3月で他の保障の一切が打ち切られてしまいました。村外仮設住宅者は高齢者・無雇用者・障がい者世帯など収入がほとんどない方が多く、帰村しても仕事がなく、家族が分断され住居の修繕すらままならない状況だそうです。施策のはざま、仮設の高齢者、介護を必要とするような方々が行政サービスもない中で困窮しています。(金子千嘉世)



(福島民報新聞 2013年12月27日掲載より)

### リフレッシュタイムの実施

原発事故以来、郡山市に住んでいる方々は安心して外で遊んだり、土いじりをする事ができないのが現状です。そのような三年の積み重ねは、子どもたちの筋力や体力の低下の原因になっています。少しでも線量の少ない所に行って身体を動かしたり、ストレスを軽減するために、リフレッシュタイム、保養プロジェクトを実施しています。牧師室には運動器具が設置されジム室に様変わり。楽しく運動しています。(金子千嘉世)



### 震災後、県外に…

ぼくは、福島県にある、郡山コスモス通りキリスト教会の大須賀瞭太です。4月から4年生になります。ぼくは、しんさいの後、長野県の山ノ内の小学校に転校しました。その後、妹が生まれ、中野市の小学校に転校しました。友だちと何度もわかれるのはさびしかったです。(中略)この春休みに郡山の教会に帰ってきました。教会の友だちに会えてうれしかったです。4月にまた長野に帰ります。お父さんとはなればなれでさびしいですが、お母さんと妹といっしょにがんばります。

(昨年の全国小羊キャンプで読まれた作文。当事者に掲載の許可をいただいています。)